



きょうの紙面

細野防災担当大臣視察
土木施設復旧を国支援 2

公共 松戸市／文化複合施設の基本構想案公表 2

公共 県／新君津合同庁舎をS造7階建てに変更 2

民間 佐倉市内工事一覧／フジクラが10階1.2万㎡ 3

公告 県企業局／高瀬町工区その2配水管更新工事 8

入札 柏の葉小校舎増築等建築を坪井工業21.6億円 5

八積駅北口 新設検討

岡本高直 長生村長就任インタビュー



村民憩いの場整備を促進

9月6日投開票の長生村長選挙で初当選を果たした岡本高直氏。生まれ育った村への恩返しの思いを胸に、安心して暮らせる村づくりを目指す。議員時代から培ってきた現場主義を貫き、JR八積駅北口の整備検討や、天候に左右されない遊び場・憩いの場の整備に取り組む。

——村への思いや印象

岡本 生まれも育ちも長生村。村での生活や風景を大切に思っている。今では、長生クリーンラインの整備などによりアクセスも良くなり、非常に便利になった。住み慣れたこの村で一生を過ごしたいという思いが強い。

——就任にあたっての抱負や展望は。

岡本 まずは地域の方々に恩返しをしたい。議員として活動していた時から、地域の声を聴き、それを政

策に反映したいという思いで取り組んできた。さまざまな政策があるが、まずは村民一人一人の命と暮らしを守る。各施設を見て回り、空き室の数の稼働率、利用者数などを確認している。災害で避難所を開設した際にも、高齢者の方々から「集まる場所がほしい」「居場所がほしい」という声があった。村民が雨の日に立ち寄り、夏の暑い日にエアコンの効いたところで過ごしたりできるように取り組んでいきたい。また、交流センターや文化会

市川市は、9日に市役所で開催した「2026年度第2回都市計画審議会」において、用途地域の見直し方針案の報告を行った。

市川市 第二種低層へ見直し 小規模店舗の立地誘導

市川市は、9日に市役所で開催した「2026年度第2回都市計画審議会」において、用途地域の見直し方針案の報告を行った。

「約30ha以上の広範囲な第一種低層住居専用地域」と「第一種低層住居専用地域のうち、幅員7m以上の主要な生活道路の沿道地区」について、「第二種低層住居専用地域」への見直しを検討している。見直しにより、2階以下かつ150㎡以下の店舗・飲食店の立地が可能となる。

また、第一種低層住居専用地域と第一種低層住居専用地域の間に、一定規模以上の商業・業務施設などの建築が制限されている。一方で、高齢化の進行に伴い、

【略歴】おかもと・たかなお 1971年4月25日生まれ。長生村出身。日本大学工学部土木工学科卒業。民間企業を経て、長生村議会議員として3期連続当選。9月6日執行の村長選挙で初当選を果たした。

——地域の建設業への期待は。

岡本 八積駅南口には、前村政からランドアバウトなどの整備を進めてきた。政策に掲げている売店の設置や北口改札の新設については、協議を進めている。今後、有事の際に迅速に対応できるように連携を深めていきたい。

——松海岸の浸食対策について。

岡本 海岸の侵食箇所にあっては、養浜が行われている。しかし、台風の影響により、1日にして砂が全て流出し、酷い状態になっている。

——教育・福祉施設整備について。

岡本 議員時代から、災害があれば現場に行き、自らの目で確かめてきた。9月の台風25号による災害時も、冠水した場所を実際に見て回った。過去に例を見ない雨量だったことで、新たに整備すべき箇所も浮き彫りになった。そうした箇所を整理し、生活への支障が大きい場所から整備を進めていく。国や県が管理する場所については、要望し、連携しながら対応していく。

——教育・福祉施設整備について。

岡本 議員時代から、災害があれば現場に行き、自らの目で確かめてきた。9月の台風25号による災害時も、冠水した場所を実際に見て回った。過去に例を見ない雨量だったことで、新たに整備すべき箇所も浮き彫りになった。そうした箇所を整理し、生活への支障が大きい場所から整備を進めていく。国や県が管理する場所については、要望し、連携しながら対応していく。

勝浦市 25年度優良建設業者表彰 丸一建設が受賞の栄

勝浦市は13日、市役所4階402・403会議室で行った「2026年度発注工事等に関する説明会」の中で、25年度竣工実績に基づく優良建設業者表彰式を開催し、「興津駅前観光案内所解体工事」など4件の工事を手掛けた丸一建設をたたえた。

説明会に先立ち、磯野典正市長は、令和8年台風第25号などに伴う豪雨災害に言及。「技術力と地域を守る強い使命感が迅速な対応につながった」と強調し、道路開通や二次災害防止に向けた緊急対応など、昼夜を問わず復旧作業に当たった関係業者の尽力に謝意を表した。勝浦市災害対策連絡会や千葉土建一般労働組合いすみ支部と災害時の協定を締結していることに心強さを示し、引き続き災害復旧への協力を求めた。

■丸一建設による25年度竣工実績

工事名	工事場所	当初請負額(円)	検査年月日(書類上)	評定点
舗装修繕工事(街路)	下目坂女卸線新官地内	3,300,000	2025年8月27日	79
転落防止柵設置工事	東之谷線大沢地内	2,222,000	2025年9月26日	75
舗装修繕工事	芳賀市野川線芳賀地内	7,370,000	2025年12月5日	80
興津駅前観光案内所解体工事	興津駅前観光案内所興津地先	3,795,000	2026年1月8日	76

同社の西尾代表取締役は、受賞工事における取り組みなどを振り返り「舗装修繕では交通量、解体では周囲への飛散などに注意し施工した」と述べた。

市川市は、9日に市役所で開催した「2026年度第2回都市計画審議会」において、用途地域の見直し方針案の報告を行った。

市川市は、9日に市役所で開催した「2026年度第2回都市計画審議会」において、用途地域の見直し方針案の報告を行った。

市川市は、9日に市役所で開催した「2026年度第2回都市計画審議会」において、用途地域の見直し方針案の報告を行った。

市川市は、9日に市役所で開催した「2026年度第2回都市計画審議会」において、用途地域の見直し方針案の報告を行った。

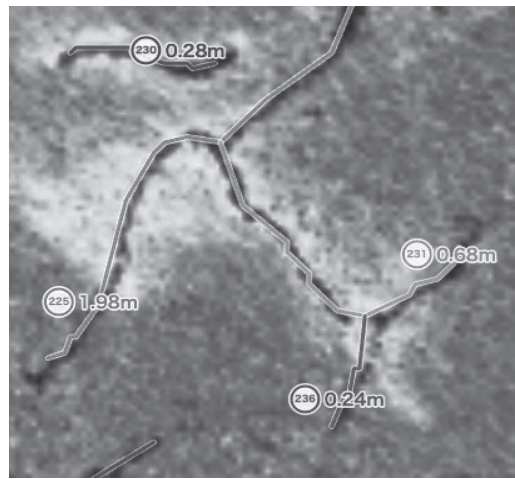


丸一建設株式会社

代表取締役 西尾 淳

〒299-5234 勝浦市勝浦 148-2
TEL : 0470-73-2231 FAX : 0470-73-2317
URL https://www.maru1-k.co.jp

NETIS登録商品 LRTK



ひび割れを自動検知
長さ・位置を自動2D図面化
点群から図面化まで自動化
全てをスマホ1台で実現
道路・構造物の点検を省力化
高精度座標付き3D点群

現場DXのプロに相談 03-6456-4323 receive@lefixea.com LRTK